

## [ 報 告 ]

### 平成19年度全国共同利用情報基盤センター顕彰について

平成 19 年度顕彰授賞式が行われました。

全国共同利用情報基盤センターの利用にあたって顕著な貢献があった教員や、技術職員の方々に授与される平成 19 年度功績賞候補者として、さきに本機構から推薦していた前本学工学研究科（都市・建築学専攻）助教授の栗田哲先生（現、東京理科大学工学部第一部教授）の授賞式が行われました。



授賞式は、昨年 10 月 18 日（木）午前 10 時から北海道大学の当番により開催された、全国共同利用情報基盤センター等研究開発連合発表講演会に先立って行われました。授賞式では、第 9 回全国共同利用情報基盤センター長会議議長である大阪大学サイバーメディアセンター長名の表彰状と副賞（楯）が、当番校の北海道大学情報基盤センター長の山本センター長から、栗田先生をはじめ 5 人の受賞者の方々に手渡されました。

今年度顕彰を受けられた栗田先生は、長年にわたり東北大学情報シナジー機構・情報シナジーセンター（旧大型計算機センターを含む。）において、アプリケーションの利用技術の普及に関する業務への協力が極めて大きく、その功績が表彰の対象となったものです。

栗田先生は、MARC の利用者講習会の講師を平成 8 年度から 11 年の長きにわたって担当されるかたわら、広報誌に MARC 利用法の啓発記事を執筆して、MARC の利用について利用者の啓発に務められるとともに、MARC の導入にも協力されたことにより、センター及びセンターの利用者の方々に多大な貢献をされたことが、今回の授賞に至った理由になっています。

#### <受賞の感想 栗田 哲>

受賞の感想として、思い出話をしたいと思います。私が MARC を利用しようとしたのは、大型計算機センター（以下センター）の広報で MARC が共同利用できることを知ったことが契機です。当時は、センターでの MARC の利用法を知っている方は殆ど居りませんでした。というのは、MARC をセンターに導入した先生が導入後あまり時間が経たない内に他大学に転任したらしく、MARC の面倒をみる方

がいなかったようです。私の場合、センターの方から工学部の金属系の先生を紹介して頂き、利用の仕方を個人的に教えて頂きました。使い始めてから、暫くしない内にセンターから、MARCの講習会を開始したいので講師になってくれと依頼されました。MARCに関する私の知識が乏しかったこともあり固辞したのですが、講習会の演習等にセンターの方が協力するので引き受けてくれと言われ、不安を抱えながら了解しました。

11年間も講師を務めることができたのも、センターの若い職員（大泉さん、佐藤さん）の多大なるご支援を賜ったお陰です。また、講習会には毎年十数名の受講者があり、それが講師を継続する励みにもなりました。ここに記して、心より感謝を申し上げます。

私の卒業論文、修士論文、博士論文では、東北大学の大型計算機を大いに活用させて頂きました。時には、センターの方に無理なお願いを聞き入れて頂きました。現在の職に就けたのは、センターのお陰と思っております。この場を借りて、センター（現在、情報シナジーセンター）の皆様には深く御礼申し上げます。